

# 舟橋村立舟橋村公民館

## ◆事業の目的

- ・生き物調べを通して、ふるさとのすばらしさを体験し、郷土に対する誇りを育てる。
- ・舟橋村を流れる川（用水）がどこから流れてきているかを知るとともに、農業用水の役割と大切さについて学ぶ。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
8月4日（土）	田んぼの生き物調べ	舟橋、仏生寺地区の用水路	70名
11月10日（土）	田んぼの水はどこから？	立山町（横江頭首工他）	13名

## ◆事業の様子

### ☆ 田んぼの生き物調べ

舟橋会館前で調査方法の説明等を受けた後、調査場所である舟橋地区・仏生寺地区の用水路、田んぼへ移動。水質を調べ、たも網を使った捕獲が始まると随所で「おった！」と歓声上がり、ドジョウやヤゴ、オタマジャクシなど目を輝かせながら捕まえていた。途中、シマヘビを発見した講師の魚津水族館飼育研究員が素手で捕まえ、近くにいた子どもたちを驚かせた。会館に戻り、捕まえた生き物を観察水槽に入れ、大きさや特徴などを観察した。

最後に同研究員から今回捕獲した生き物の生態の話聞いた。朝から大変暑い日であったが、参加した子どもたちはとても意欲的に活動していた。

### ☆ 田んぼの水はどこから？

役場からバスに乗り、立山町にある常願寺川沿岸用土地改良区連合横江管理事務所へ。まず事務所内で講師である常東用土地改良区の方から常願寺川から舟橋村へ引かれている用水について地図を見ながら話を聞いた。その後、横江管理事務所職員から操作室等について、外に移動して頭首工の必要性や能力について詳しく説明を聞いた。また、近くにある兩岸分水工、左岸連絡水路橋も見学した。

## ◆事業の成果と課題

日頃から見慣れている「田んぼ」をテーマに事業を行った。身近な農業用水にいる生き物に触れたこと、頭首工の見学や村を流れる農業用水について学んだことで、ふるさとの自然の豊かさを実感し、また農業用水の役割を理解するよい機会になったと思う。今後もふるさとへの愛着や誇りに思う心を育むことのできる事業を実施していきたい。

